

## 第24回「鉄道のある風景写真コンテスト」の開催のご案内

～日本の四季折々の鉄道のある風景を題材に写真コンテストを開催～

日本の四季折々の鉄道のある風景等を題材に、昨年は1,293点の応募をいただいた写真コンテストを今年も開催します。

グランプリ受賞作品は、例年、「鉄道の日」(10月14日)に関連して開催される行事の中で、審査委員長の猪井貴志氏(写真家)より作品の紹介と表彰をいただいています。

(※昨年度の表彰式は、「鉄道の日」祝賀会の場で行われましたが、今年度の開催については、決まりしだい鉄道・運輸機構ウェブサイトなどでお知らせします。)

### 記

第24回「鉄道のある風景写真コンテスト」の概要

主催：「鉄道の日」実行委員会

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(鉄道・運輸機構)

テーマ：日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品

受付期間：令和5年7月1日(土)～8月31日(木)(必着)

受賞作品：グランプリ(国土交通大臣賞)

四季賞	春賞	四季賞の中から、 鉄道の日実行委員会会長賞 2点、 国土交通省鉄道局長賞 1点、 鉄道・運輸機構理事長賞 1点 を選出	1点
	夏賞		4点
	秋賞		
	冬賞		

シティ・トレイン・ビュー賞 1点

ジュニア賞(※18歳以下を対象) 1点

入選 数点

審査結果発表(予定)：10月上旬鉄道・運輸機構ウェブサイト

添付資料：第24回鉄道のある風景写真コンテスト募集要領

第23回鉄道のある風景写真コンテスト作品集



ウェブサイト



Twitter 公式アカウント

<本件に関するお問い合わせ先>

鉄道・運輸機構 鉄道助成部

特定財源管理課 四元・鍋釜

TEL 045-222-9122

# 第24回「鉄道のある風景写真コンテスト」募集要領

令和5年4月25日

## 主催者

「鉄道の日」実行委員会  
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）



## 後援

国土交通省

## テーマ

日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品を募集します。

## 応募受付期間

令和5年7月1日（土）～令和5年8月31日（木）必着

## 応募資格

・アマチュアの方で、撮影マナーをしっかりと守っていただける方ならどなたでも応募できます。

## 応募規格 ※応募規格外の写真は、審査の対象外となります。

- ・応募作品は、他のコンテスト等の受賞歴がないものに限る。（詳細は注意事項①をお読み下さい。）
- ・カラー六切り（ワイド六切り可）、またはA4サイズでプリントアウトしたもの。
- ・額装、合成写真及び組み写真は不可。
- ・概ね3年以内に撮影をしたものに限る。
- ・応募点数は、一人4点まで可能。
- ・無人航空機（ドローン等）により撮影した写真は不可。

## 応募方法

- ・応募作品には1点ごとに「作品情報票」を裏面にテープで貼付した上で、「応募票」（送付封筒1通毎に1枚作成）を同封して下記応募先まで送付して下さい。（直接の持ち込みは禁止します。）なお、「作品情報票」及び「応募票」は本要領の最終ページの利用、もしくは鉄道・運輸機構ウェブサイト（<https://www.jrnt.go.jp/>）よりダウンロードして作成して下さい。必要事項について記載があれば自作のものでも構いません。
- ・応募作品が、送付中に作品が折れたり、汚れないようビニール袋に入れる、厚紙に挟む等の包装を推奨します。

## 応募・問い合わせ先

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー20階  
鉄道・運輸機構 鉄道助成部内 写真コンテスト係  
電話 045-222-9122

## 表彰

応募作品の中から

・グランプリ 国土交通大臣賞	1点
・四季賞	4点
春賞	〔 四季賞の中から、鉄道の日実行委員会会長賞2点、 国土交通省鉄道局長賞1点、 鉄道・運輸機構理事長賞1点 を選出 〕
夏賞	
秋賞	
冬賞	
・シティ・トレイン・ビュー賞	1点
・ジュニア賞 (18歳以下を対象)	1点
・入選	数点

グランプリ受賞者には、賞状、トロフィー、副賞及び記念品を贈呈いたします。  
四季賞、シティ・トレイン・ビュー賞受賞者には、賞状、副賞及び記念品を贈呈いたします。  
ジュニア賞受賞者及び入選者には、賞状及び記念品を贈呈いたします。

## 審査委員

審査委員は、次の方々をお願いします。(敬称略)

審査委員長	猪井 貴志 (写真家)
審査委員	竹内 健蔵 (東京女子大学教授)
審査委員	中村 直美 (株式会社交通新聞社 常務取締役コミュニケーションデザイン事業部長)
審査委員	国土交通省鉄道局長
審査委員	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構理事長

## 審査結果の発表

入賞・入選者へは、鉄道・運輸機構から直接ご連絡するとともに、令和5年10月上旬に、鉄道・運輸機構ウェブサイト (<https://www.jrtt.go.jp/>) にて発表します。

なお、グランプリ受賞者は、例年、10月に東京で行われる「鉄道の日」関連行事の中で表彰式を行っています。今年度の開催については、決まりしだい鉄道・運輸機構ウェブサイトなどでお知らせします。

また、一部の作品は、鉄道・運輸機構の広報印刷物などにも利用する予定です。

## 個人情報の取り扱いについて

作品をご応募の際には、別添の「応募票」「作品情報票」に正確な応募者の個人情報を記入し、主催者に提供いただく必要がありますので、応募者は、自らの意思に基づき個人情報の提供についてご判断ください。なお、必要な個人情報を提供していただけない場合、主催者は当該応募を受け付けません。

(利用目的)

- ◇ 提供していただく個人情報は、以下の目的で必要な範囲で利用されます。
  - ・ 入賞、入選者への通知
  - ・ 本コンテストの応募作品に関する応募者への問合せ
  - ・ その他、本コンテストの運営上必要な場合
- ◇ 入賞、入選者の氏名、住所（都道府県のみ）は、本コンテスト関係のウェブサイトや印刷物その他で、入賞、入選作品を紹介する際にも掲載されます。

(個人情報の管理)

個人情報の取り扱いについては、関係法令に従い適正に管理します。

## 注意事項

下記の注意事項のほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、写真撮影にあたっては、政府、地方自治体等が示している感染防止対策にご留意いただきますようお願いいたします。

- ① 応募いただく作品は、他のコンテスト等の受賞歴のない作品で応募者が一切の著作権を有しているものに限り、応募者による同一または類似作品は、規模の大小にかかわらず、他のコンテストなどに応募中または応募予定の場合は応募できません。但し、応募者本人の制作による市販目的のない写真集や本人のウェブサイトに掲載された作品、審査のない写真展に出品した作品は応募可能です。
- ② 応募作品で使用する被写体（人物等）及び著作物等については、被写体および著作権等の権利者から応募者が事前に使用許諾・承認を得た上で応募してください。応募作品に関し、第三者からの権利侵害や損害賠償などの苦情、異議申し立てがあった場合といえども、主催者は一切の責任を負わず、応募者が全て対処するものとします。
- ③ 応募作品に関する著作権は、応募者に帰属するものとします。
- ④ 入選者は主催者に対し、主催者が管理するウェブサイト、展示会、印刷物、宣伝広告物等において、入賞・入選作品を公表、表示、複製、展示、公衆送信（送信可能化を含む）、頒布等し、かつ、それらの全部または一部を第三者に再許諾できる無償の非独占的権利を許諾するものとします。
- ⑤ 主催者は、前項に関連して、入選作品の全部または一部を改変（色合いの変更を含む。）できるものとします。
- ⑥ 入選者は、主催者および主催者から許諾を受けた第三者に対し、著作者人格権を行使しないものとします。
- ⑦ 応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
- ⑧ 入賞・入選内定者は、指定期限内に原版（ネガ・ポジ等）またはデジタルデータを提出していただきます。期限内に提出いただけない場合、入賞・入選の内定を取り消します。なお、原版（ネガ・ポジ等）で提出いただいた場合は、使用後に当該原版を返却いたします。
- ⑨ 応募作品の受領通知は行いませんので、ご了承下さい。
- ⑩ 応募作品（入賞・入選作品に関しては提出いただいた原版及びデジタルデータも含む）の取扱いには十分注意しますが、万一応募作品に関する損失、紛失等の事故（送付中の事故も含む。）が生じた場合であっても責任は負いかねます。
- ⑪ 審査選考に関するお問合せ及びご要望には応じかねます。
- ⑫ 撮影にあたっては、列車往来などに十分注意してください。鉄道用地・私有地への無断の立ち入りや違法駐車、ゴミの投棄などの近隣住民への迷惑行為及び危険行為は絶対に行わないで下さい。これらの行為のうえ撮影されたと思われる作品は審査対象外とします。また、撮影に起因する事故やトラブル等については、主催者は一切の責任を負いかねます。
- ⑬ 主催者は、応募者が応募した時点で本募集要領に記載されている諸条件に同意したものとみなします。本募集要領に明記されていない事項については、主催者が最終的な決定権をもつものとします。また、主催者の決定に同意できない場合、応募者は応募を撤回することができますが、応募の撤回にともなう費用は、全て応募者の負担となります。
- ⑭ ご応募が本募集要領に違反すると主催者が判断した場合は失格となります。また、入賞・入選決定後に違反が判明した場合も同様となり、入賞・入選の取消しや副賞等を返還していただく場合があります。この場合の費用は、全て応募者の負担となります。

## 応 募 票

(ふりがな) 氏名	(      歳) ※1      男 ・ 女
住所	〒      -
連絡先	自宅電話番号： 携帯電話番号： E-mail      :
作品タイトル※2 (   ) は季節を記載	1.                      (   )      3.                      (   ) 2.                      (   )      4.                      (   )
コンテスト応募の きっかけ  ※ 該当項目を○で囲んで下さい。	a) 鉄道雑誌              (雑誌名：                      ) b) カメラ雑誌              (雑誌名：                      ) c) 新 聞                      (新聞名：                      ) d) 鉄道車内広告、広報誌等 (鉄道会社：                      ) e) インターネット (ウェブサイト：                      ) f) 家族・友人の薦め g) これまでに応募したことがある                      (                      回目) h) その他                      (具体的に：                      )

※1 応募時点での年齢をご記入ください。

※2 応募者が今回のコンテストに応募した「全ての作品」のタイトルを1.～4.にご記入ください(順不同)。

## 作 品 情 報 票

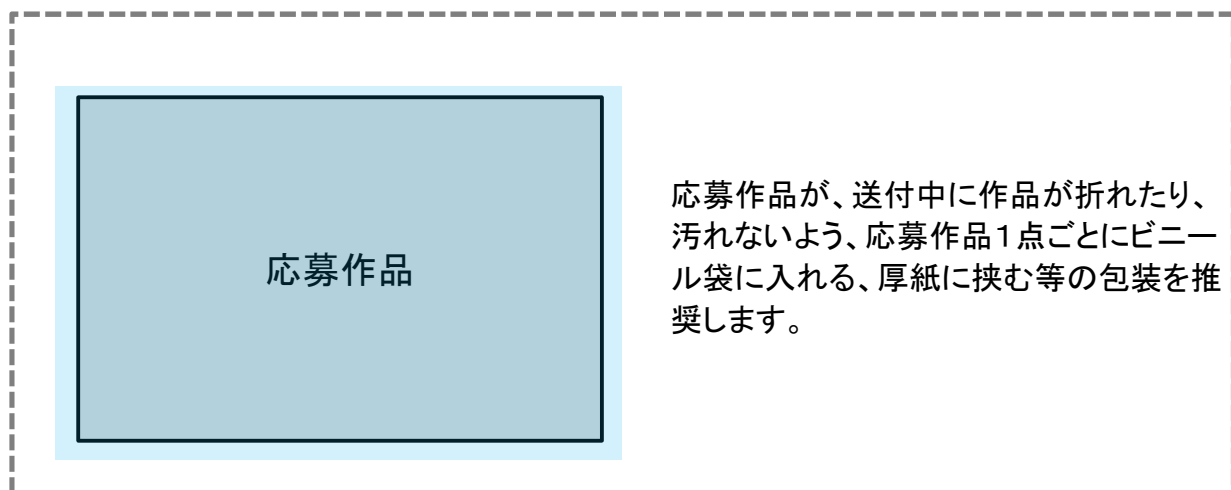
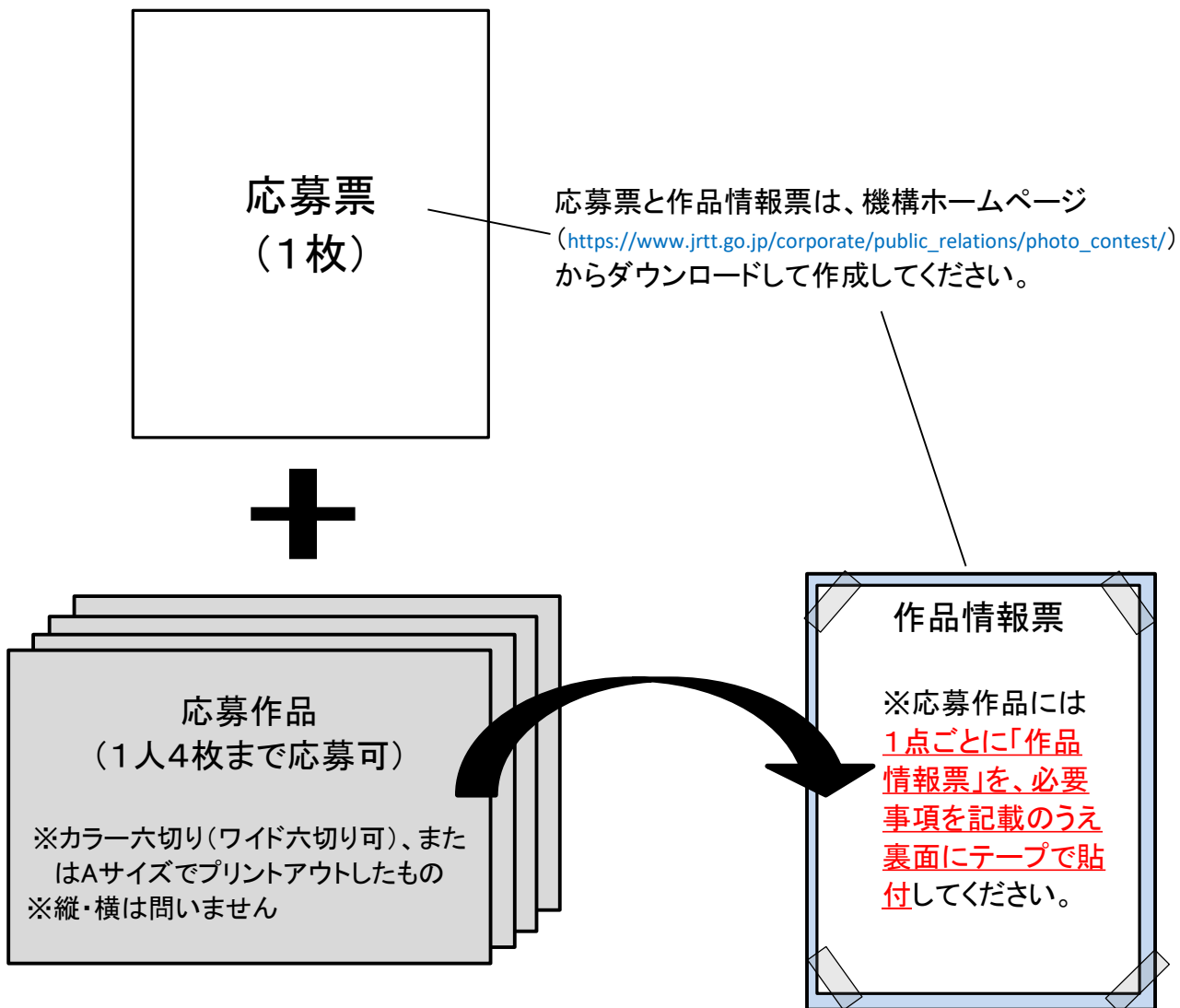
【それぞれの作品裏面に貼付】

(ふりがな) 氏 名	( 歳) ※1 男 ・ 女
(ふりがな) 作品タイトル	
撮影日時等	年 月 日 時頃 ( 春 ・ 夏 ・ 秋 ・ 冬 ) ※2
撮影場所	鉄道会社名 ※3 ( . 線間)
撮影コメント※3 (撮影時の状況や狙い、感想、エピソード等)	
カメラ種別※4 カメラ機種 レンズ	種 別：フィルム・デジタル・その他 ( ) 機 種： レンズ：
撮影データ※3 (絞り・シャッター速度等)	
本コンテストへの 応募回数	回 目
写真撮影歴※3	約 年

- ※1 応募時点での年齢をご記入ください。
- ※2 応募作品について、応募者が該当すると感じている季節を○で囲んでください。
- ※3 可能な範囲でご記入ください。
- ※4 該当する種別を○で囲んでください。

## 第24回「鉄道のある風景写真コンテスト」の応募方法

### ◆ご送付いただくもの





## 第23回

# 鉄道のある風景写真コンテスト 作品集

今年は、鉄道開業 150 周年記念の年です。記念の年を祝うかのように 9 月 23 日武雄温泉—長崎間に西九州新幹線「かもめ」が開業しました。また、JR・民鉄各社も新型車両を登場させてくれたことで、より快適な旅を楽しめるようになります。

新しい新幹線や新型車両群が、美しい日本の風景の中を走り抜ける雄姿を想像するだけでもワクワクしてきます。時節柄、まだまだ油断はできませんが、来る日のためにも自身のお気に入り撮影地で見せてくれる四季の彩りとどう調和させるかなど思いをはせ準備しておきましょう。

写真家 猪井 貴志

グランプリ 国土交通大臣賞 石木 憲(栃木県)



『始発列車の閃光』

(東日本旅客鉄道 只見線 早戸駅～会津宮下駅)

撮影者のコメント

何年も通い続けてきた大好きな只見線。冬でも撮影に来られるように車を買替え整備を整え今では四季を通して通えるようになりました。そんな甲斐もあってこの作品を撮ることができました。只見線全線再開バンザイ！

## 総評

第23回「鉄道のある風景写真コンテスト」に今年も多数の応募が寄せられました。今年は特に感じたのが、光と影を巧みに表現した作品が多く見られました。また今年は鉄道開業150周年記念を迎え、その作品全てを審査員一同新鮮な目で応募作品の選考にあたりました。

時節柄、まだまだ油断しないよう気を配りながらも皆様の力作の応募に強い喜びを感じました。今年は鉄道開業150周年記念の年でもあります。今年の応募作品には新しい風が吹き抜けたような作品を多く見ることができました。

「鉄道のある風景写真コンテスト」のテーマは鉄道と風景だけではなく、鉄道のある風景なのです。その時代における事象をどう鉄道で表現するか、鉄道に関わる全ての題材が被写体になるのです。

第23回「鉄道のある風景写真コンテスト」のグランプリに輝いたのは、石木憲さんの「始発列車の閃光」。闇夜の中からヘッドライトの閃光が積雪した線路だけを浮かび上がらせた瞬間でした。鮮烈なインパクトを受けた作品です。

また、今年は鉄道開業150周年ということで特別賞が設けられ、その一枚に伴勝彦さんの「親父からの思い出のプレゼント」が入選しました。特急電車を背景に何気ない新大阪駅での記念写真ですが、伴さんには大切なご両親との思い出が詰まった一枚でした。写真っていいですね。  
写真家 猪井 貴志

## 【鉄道開業150周年記念テーマ】「鉄道」を題材とした思い出の作品

### 審査委員長特別賞 渡部 円(東京都)



#### 『ふたつの世界』

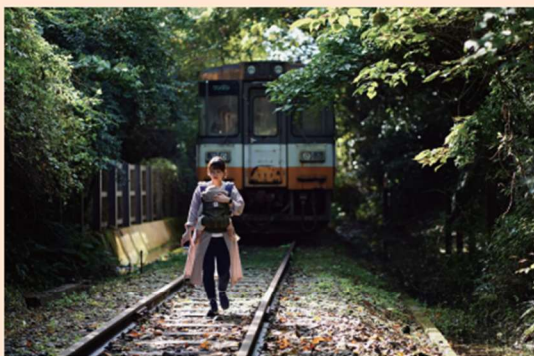
(東日本旅客鉄道 東京駅2022年8月3日撮影)

写真に関する思い出など

国鉄創業100年を迎えたときに記念設置された、日本の復興を支えたC62蒸気機関車の動輪の穴からは、動輪の裏側を過去とすると、過去から現代の景色は「ふたつの世界」が見え、時代の変化の繋がりを感じました。

### 入選

植野 幸帆(東京都)



#### 『過去と現在の融合探訪』

のと鉄道 能登線(廃線) 2020年11月撮影

写真に関する思い出など

生後半年の娘を連れて初めての家族旅行。いざ降り立ってみると今にも動き出しそうな電車で高揚したり、かつての街や暮らしを想像してしみじみする気持ちが混在し、なんとも複雑な面白い感情が込みあげてきます。

### 入選

伴 勝彦(大阪府)



#### 『親父からの思い出のプレゼント』

(日本国有鉄道 新大阪駅 1965年撮影)

写真に関する思い出など

東海道新幹線が開業した年の冬に新大阪駅に連れて行ってくれた。記憶にない。そのまま新幹線で名古屋東山動物園に行った。と母から聞いた。天国でシャッター切る親父と隣で見守っている母を想う。この素敵なプレゼントで。



## 四季折々の「鉄道のある風景」

### 春賞（「鉄道の日」実行委員会会長賞）

猪股 千枝子(北海道)



『夕陽と水田とラベンダー編成』

(北海道旅客鉄道 室蘭本線 有珠駅～長和駅)

撮影者のコメント

水田に映る夕陽が撮りたくてカメラを向けた所、スーパー北斗ラベンダー編成が走って来ました。写真を確認するととても綺麗な写真だと感動しました。この景色は春にしか写せないのですよね。

### 夏賞（鉄道・運輸機構理事長賞）

小板橋 美次(千葉県)



『輝く旅路』

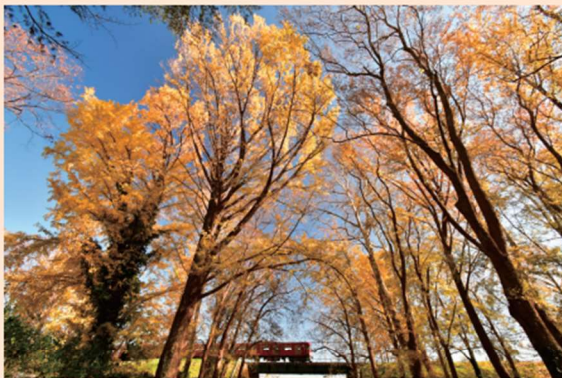
(西日本旅客鉄道 山陰本線 須佐駅～宇田郷駅)

撮影者のコメント

真夏の夕方に惣郷川橋梁を高所から見下ろすと、夕陽に輝く海面がとても美しく、望遠で水平線をカット、シルエットで表現しました。すると、波模様がまるで空のように見え不思議な感覚に包まれました。

### 秋賞（国土交通省鉄道局長賞）

山口 徹(東京都)



『錦秋の雑木林』

(西武鉄道 多摩湖線 多摩湖駅～武蔵大和駅)

撮影者のコメント

晩秋の雑木林はそろそろ冬の装い。西日をうけて美しく輝いていました。広角レンズで空を大きく入れ、色づいた木々を主役にしました。

### 冬賞（「鉄道の日」実行委員会会長賞）

小川 広子(福岡県)



『SL冬の里山をゆく』

(西日本旅客鉄道 山口線 鍋倉駅～徳佐駅)

撮影者のコメント

残り柿、吹雪、汽笛を鳴らしながら力強く走る蒸気機関車、私にとって最高のロケーションでした。遠くから汽笛が聞こえてきた時のドキドキ感・・・夢中になってシャッターを切っていました。あの感動は、今でも忘れられません。



## シティ・トレイン・ビュー賞

内山 省三(山口県)



### 『夕暮れの旦過市場』

(北九州モノレール 香春口三萩野駅～旦過駅)

撮影者のコメント

北九州の台所とも呼ばれる昭和レトロな旦過市場を通過するモノレールを撮影しました。4月・8月の火災による復興によって、川面に映るレトロな建物とモノレールの光景は、大きく変化し、新しい風景が創られると思います。

## ジュニア賞

荒田 拓(東京都)



### 『国鉄色・小京都』

(西日本旅客鉄道 伯備線 備中高梁駅～木野山駅)

撮影者のコメント

復活した国鉄色のやくもを撮影しました。

## 入選

樋口 精一(福島県)



### 『ねむの花の向こうに・・・』

(東日本旅客鉄道 磐越西線 喜多方駅～山都駅)

撮影者のコメント

夏を向えた磐越西線。大きな「ねむの木」の向こうに白い煙を吐いて「ばんえつ物語号」が走りました！暑い夏はもう直ぐ目の前です。

## 入選

佐藤 茉利生(愛知県)



### 『清流のニューフェイス』

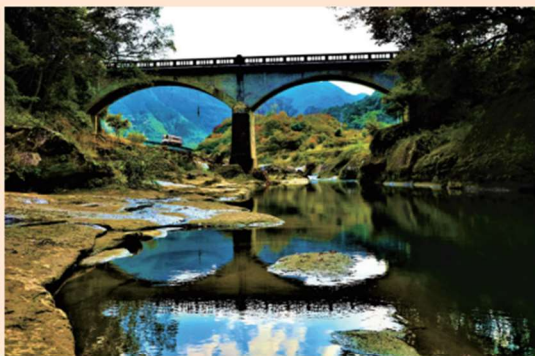
(東海旅客鉄道 高山線 白川口駅～下油井駅)

撮影者のコメント

JR 東海最新のこの列車を高山線とうまくマッチさせる場所はこの場所しかないと考え、事前に何度も通り狙いました。

## 入選

松田 常義(三重県)



### 『晩秋の明鏡止水』

(東海旅客鉄道 名松線 家城駅～伊勢竹原駅)

#### 撮影者のコメント

撮影時間は12時頃ですが、川の水鏡が良く映るか心配でしたが丁度電車の時間に間に合って映りました。又、当日は天気も良く青空も一緒に映りました。

## 入選

伊藤 洋(長野県)



### 『紅葉の朝』

(西日本旅客鉄道 大糸線 中土駅～北小谷駅)

#### 撮影者のコメント

何度も通う大糸線ですが、この景色はこの時初めて出会いました。季節や光の組み合わせは無限だな、とあらためて感じました。

## 入選

饗庭 正志(静岡県)



### 『雲海晴れゆく中』

(九州旅客鉄道 豊肥本線 内牧駅～阿蘇駅)

#### 撮影者のコメント

収穫が終わる頃、雲海が日の出とともに晴れゆく中、一番列車が静かに走って行きました。

## 入選

大藪 琢也(茨城県)



### 『木の根明く』

(東日本旅客鉄道 只見線 大白川駅～只見駅)

#### 撮影者のコメント

六十里の峠道が開通する頃、ぶなの芽吹きを見に峠を訪れる。ライムグリーンに染まる森の足下にはもうひとつの春の表情を見る事ができた。

## 入選

生川 淳(北海道)



### 『待ちわびた春』

(北海道旅客鉄道 富良野線 上富良野駅～美馬牛駅)

#### 撮影者のコメント

四季折々に雄大な自然の中を走る富良野線。待ちわびた春には、残雪の間から噴煙を立てる十勝岳連峰と田植えを待つ水田の中を列車が走ります。水鏡に写し出されたその風景と列車を写真に収めました。

(敬称は略させていただきました)



## 第23回 鉄道のある風景写真コンテストの概要

主催 「鉄道の日」実行委員会／鉄道・運輸機構  
後援 国土交通省  
募集期間 令和4年7月1日(金)～令和4年8月31日(水)  
審査 令和4年9月5日(月)午後 鉄道・運輸機構にて開催  
応募数 (四季折々の「鉄道のある風景」) 989点  
(「鉄道」を題材とした思い出の作品) 304点  
合計 1,293点 (応募者数: 407名)

写真の審査は、次の方々をお願いいたしました。(敬称略)

審査委員長	写真家	猪井 貴志
審査委員	(株)交通新聞社常務取締役コミュニケーションデザイン事業部長	中村 直美
	東京女子大学教授	竹内 健蔵
	国土交通省鉄道局長	上原 淳
	鉄道・運輸機構理事長	河内 隆

### 入賞・入選 作品の展示

令和4年10月8日(土)～9日(日)	第29回鉄道フェスティバル会場(東京・日比谷公園)
令和4年10月12日(水)～18日(火)	松山市役所
令和4年10月22日(土)～23日(日)	南海電鉄なんば駅
令和4年10月27日(木)～11月2日(水)	近畿日本鉄道桑名駅
令和4年11月6日(日)～9日(水)	神戸高速鉄道新開地駅(メトロこうべ中央広場)
令和4年11月10日(木)～13日(日)	神戸電鉄谷上駅
令和4年11月19日(土)～27日(日)	黒部峡谷鉄道宇奈月駅
令和4年12月7日(水)～13日(火)	京都市営地下鉄烏丸御池駅
令和5年1月6日(金)～12日(木)	つくばエクスプレス 浅草駅

第24回は、令和5年春に募集案内を告知する予定です。  
応募要領は、鉄道・運輸機構のウェブサイトをご覧ください。



明日を担う交通ネットワークづくりに貢献します。

## 鉄道・運輸機構

Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町 6-50-1 (横浜アイランドタワー)

TEL 045 (222) 9100 (代表)

URL <https://www.jrnt.go.jp/>

JRRT  
ウェブサイトは  
こちら!



### JRRT 公式 SNS

JRRT の最新情報を発信しています! ぜひご覧ください。



Twitter  
公式アカウント



YouTube  
公式アカウント

